

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-296560

(P2005-296560A)

(43) 公開日 平成17年10月27日(2005.10.27)

(51) Int. Cl.⁷

A45C 1/12

F I

A45C 1/12

テーマコード (参考)

B

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2004-142900 (P2004-142900)
(22) 出願日 平成16年4月12日 (2004.4.12)(71) 出願人 504184662
水戸 加奈子
東京都足立区西新井 3-4-11-303
(72) 発明者 岩尾 健司
東京都足立区西新井 3-4-11-303

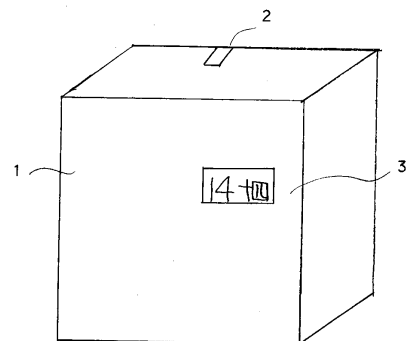
(54) 【発明の名称】 日付自動変更貯金箱

(57) 【要約】

【課題】 貯金をすると同時に日付の部分が自動的に変更する貯金箱を提供する。

【解決手段】 硬貨を投入すると同時に投入口に連結したばね、押込片、歯車、日付ドラムが動き、日付が自動で変更する貯金箱。

【選択図】 図1

1 箱本体
2 投入口
3 日付窓

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

箱本体と箱本体上部に設けられた投入口と、前面に設けられた拡大レンズ付の日付窓と、箱内部に貯金空間と機構収納部を隔てるように設けられた隔壁と、機構収納部内に軸着された日付ドラムと歯車を連結させ、投入口から投入されたコインにより動作し日付ドラムを一単位分動かす回転制御機構と、投入されたコインを貯金空間に導くガイド機構とより成る日付自動変更貯金箱。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、お金を投入する事によりのみ日付の変更が可能な貯金箱である。

【背景技術】

【0002】

従来は、お金を投入する貯金箱と、日付及びカレンダーと連結のない状態で、カレンダーの付いた貯金箱、及びお金を投入しても自分自身の手で日付を変更していた。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

そのために次のような問題点があった。

お金を入れなくても日付が変更できたり、日付を動かすのが面倒になったりするので、日付の変更、及びカレンダーとの連結性の無い状態で使用されるようになっていた。

本発明は以上の問題点を解決しようとするものである。

【課題を解決するための手段】

【0004】

箱本体を設け、箱本体上部に投入口、前面に拡大レンズ付の日付窓を設け、箱内部に貯金空間と機構収納部を隔てる隔壁、機構収納部に軸着された日付ドラム、歯車を連結させ、投入口から投入されたコインにより動作し、日付ドラムを一単位分動かす回転制御機構と投入されたコインを貯金空間に導くガイド機構とより成る日付変更貯金箱。

【発明の効果】

【0005】

本発明は、お金を投入する事により自動的に日付が変更する。したがって日付変更、及びカレンダーを変更するという日常生活の動作と関連づけることで興味がわきお金が貯まる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0006】

以下、本発明の実施の形態を説明する。

(イ) 図1に見るように、箱本体(1)を設け、上部面に投入口(2)、前面に日付窓(3)を設ける。

(ロ) 図2は図1にある日付窓(3)の詳細であり、箱本体(1)の前面にレンズ受け部(4)を設け、その部分に拡大レンズ(5)を設け、中の文字を大きく見せるようにする。

(ハ) 図3に見るように、箱本体(1)前面の一部、及び上面の一部を取り外した状態の詳細図であり、投入口(2)の下に突出片を有する押込片(6)、及び押込片の下にはね(9)を設け、押込片(6)が上下に作動できるように、押込片開口部(7)を設け、貯金空間(8)と機構収納部を隔てる横隔壁(10)、下隔壁(11)、後隔壁(12)を設ける。

(ニ) 図4は図3に機構収納部品を設けた部分を示し、箱本体(1)と横隔壁(10)の間に支持棒(15)を設け、歯車(13)、及び日付ドラム(14)を日付窓(3)に平行かつ同じ高さ、及び横同位置になるように設け、同一軸で軸着させる。またこの日付ドラム(14)は表面に日付が表示されたものであり、30分割あるいは31分割にして

10

20

30

40

50

、 1 ~ 3 0、あるいは 1 ~ 3 1 というように日付が同じ幅となるように表示されている。また歯車 (1 3) はその表示の分割にあわせた数の歯からなっている。

(ホ) 図 5 に見るように、箱本体 (1) の前面を取り外した状態の詳細図であり、貯金空間 (8) と機構収納部を隔てる横隔壁 (1 0)、下隔壁 (1 1) 及び、後隔壁 (1 2) を設け、箱本体 (1) と横隔壁 (1 0) の間に支持棒 (1 5) を設け、歯車 (1 3) と日付ドラム (1 4) を同一軸の支持棒 (1 5) に平行かつ同じ高さ及び、横同位置に軸着させた状態となっている。

(ヘ) 図 6 は機構収納部の動作を示し、(a) に示すように、投入口 (2) にコイン (1 6) を投入することにより、(b) のように、ばね (9) が縮み、押込片開口部 (7) 内を押込片 (6) が下がり、押込片 (6) が歯車 (1 3) の歯に噛み合い、歯車 (1 3) が同軸着した日付ドラム (1 4) の 1 回転分のみが廻るようになっている。また投入されたコイン (1 6) は機構収納部内に絶対に入ることのないように、横隔壁 (1 0)、下隔壁 (1 1)、後隔壁 (1 2) にはばまれ、必ず貯金空間 (8) に貯まるようになっている。

本発明は、以上の構成からなりたっている。

本発明を使用するときには、箱本体 (1) の上面の部分に設けた投入口 (2) にコイン (1 6) を投入すると図 6 (b) に示すように同時にばね (9) が縮む。また同時に押込片 (6) が押込片開口部 (7) 内を下げる。その時、コイン (1 6) が貯金空間 (8) に必ず落ちるように貯金空間 (8) に導くガイド機構〔横隔壁 (1 0) 下隔壁 (1 1) 後隔壁 (1 2)〕を機構収納部及び貯金空間 (8) との間に取り付けられている。押込片 (6) が下がることにより箱本体 (1) と横隔壁 (1 0) の間に取り付けられた支持棒 (1 5) に軸着された歯車 (1 3) に噛み合い、同一軸着された日付ドラム (1 4) の 1 回転分の動作分のみ歯車 (1 3) が廻る。それに連動して日付ドラム (1 4) が 1 日分のみ廻り、日付が 1 日分のみ変更される。その変更された日付ドラム (1 4) の日付部分を、日付窓 (3) に取り付けられた拡大レンズ (5) を通して、日付の文字を大きく見ることができる。図 6 (c) に示すように、コイン (1 6) が投入され、下げられた投入口 (2) がばね (9) の動力により、元の位置に戻るようになっている。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 0 7 】

【図 1】本発明の斜視図

【図 2】本発明の拡大レンズ構造図

【図 3】本発明の前面、上部面の一部を取り外した構造図

【図 4】本発明の機構収納部構造図

【図 5】本発明の前面を取り外した構造図

【図 6】本発明の部品動作図

【図 7】本発明の部品動作図

【符号の説明】

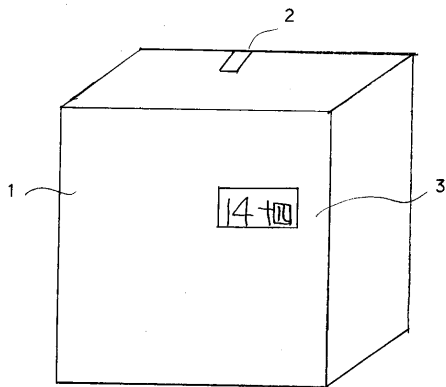
【 0 0 0 8 】

- 1 箱本体
- 2 投入口
- 3 日付窓
- 4 レンズ受け部
- 5 拡大レンズ
- 6 押込片
- 7 押込片開口部
- 8 貯金空間
- 9 ばね
- 1 0 横隔壁
- 1 1 下隔壁
- 1 2 後隔壁

- 1 3 歯車
- 1 4 日付ドラム
- 1 5 支持棒
- 1 6 コイン

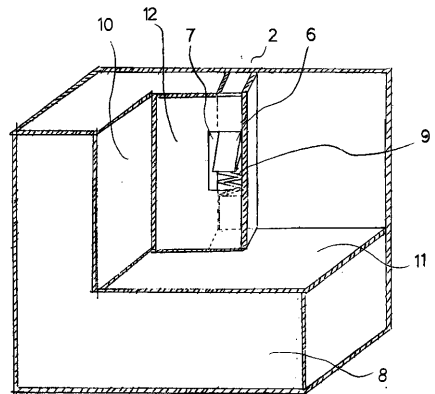
【図 1】

- 1 箱本体
- 2 投入口
- 3 日付窓



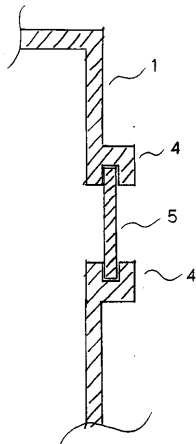
【図 3】

- 2 投入口
- 6 押込片
- 7 押込片開口部
- 8 貯金空間
- 9 ばね
- 10 横隔壁
- 11 下隔壁
- 12 後隔壁



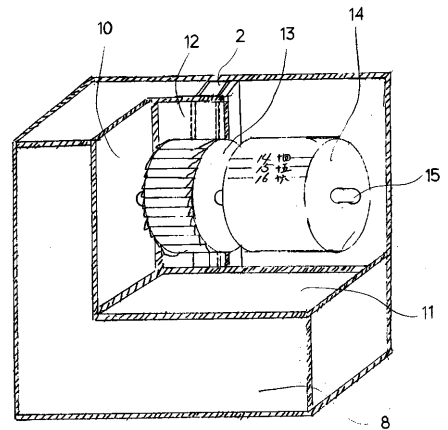
【図 2】

- 1 箱本体
- 4 レンズ受け部
- 5 拡大レンズ



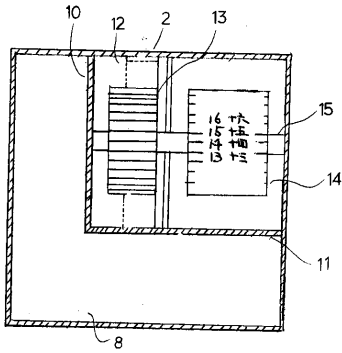
【図 4】

- 2 投入口
- 8 貯金空間
- 10 横隔壁
- 11 下隔壁
- 12 後隔壁
- 13 歯車
- 14 日付ドラム
- 15 支持棒



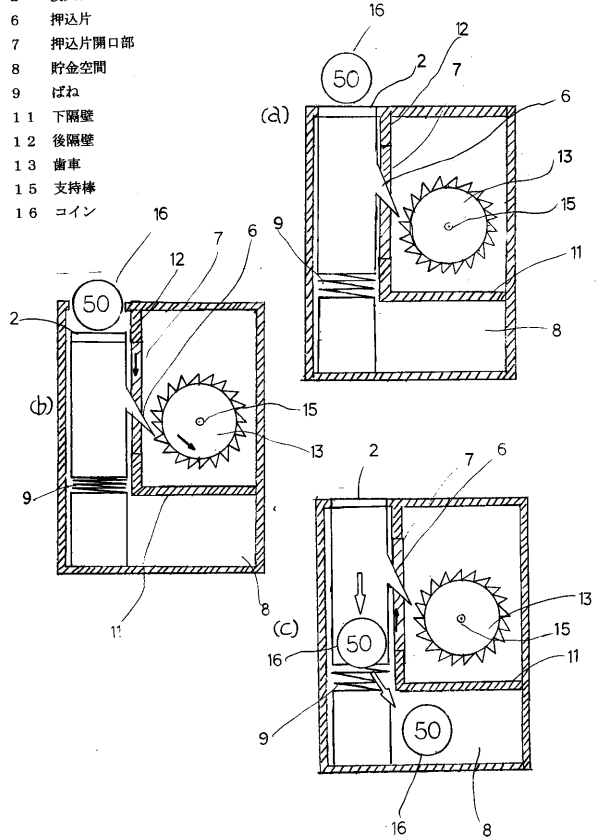
【 図 5 】

- 2 投入口
- 8 貯金空間
- 10 横隔壁
- 11 下隔壁
- 12 後隔壁
- 13 歯車
- 14 日付ドラム
- 15 支持棒



【 図 6 】

- 2 投入口
- 6 押込片
- 7 押込片開口部
- 8 貯金空間
- 9 ばね
- 11 下隔壁
- 12 後隔壁
- 13 歯車
- 15 支持棒
- 16 コイン



【 図 7 】

- 2 投入口
- 8 貯金空間
- 9 ばね
- 10 横隔壁
- 11 下隔壁
- 12 後隔壁
- 16 コイン

